



平成22年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年8月9日

上場会社名 株式会社スタジオアリス 上場取引所 東
 コード番号 2305 URL <http://www.studio-alice.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 廣明 (TEL) 06 (6343) 2600
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 山口 正信 配当支払開始予定日 —
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 ・ 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ・ 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第2四半期の連結業績（平成22年1月1日～平成22年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第2四半期	11,784	3.4	△1,016	—	△1,047	—	△948	—
21年12月期第2四半期	11,399	—	△1,384	—	△1,409	—	△1,046	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第2四半期	△55	23	—	—
21年12月期第2四半期	△60	89	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
22年12月期第2四半期	19,941		10,563		51.8	601	79	
21年12月期	19,149		11,941		61.3	683	09	

(参考) 自己資本 22年12月期第2四半期 10,338百万円 21年12月期 11,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金									
	第1四半期末		第2四半期末		第3四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年12月期	—	—	0	00	—	—	25	00	25	00
22年12月期	—	—	0	00						
22年12月期 (予想)					—	—	25	00	25	00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無：無

3. 平成22年12月期の連結業績予想（平成22年1月1日～平成22年12月31日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	31,000	0.6	3,100	5.1	3,050	6.5	1,340	1.4	78	00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無：無

4. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

新規 - 社 (社名) 、除外 - 社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 無

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

22年12月期 2 Q	17,185,650株	21年12月期	17,185,650株
22年12月期 2 Q	6,171株	21年12月期	5,996株
22年12月期 2 Q	17,179,538株	21年12月期 2 Q	17,179,710株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、海外経済の回復や国内の経済政策による効果などから一部に改善の兆しが見られるものの、失業率が依然として高水準にあるなど雇用及び所得環境は引き続き厳しい状況にあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループのこども写真事業は、お客様から圧倒的な支持を得るため、エリア責任者であるブロック長を対象とした技術力強化をテーマとした研修の実施や、個店別に撮影技術の指導を行うなど、当社ブランドの中核に位置する技術力の強化に取り組みました。また、撮影用こども衣装では、ディズニーキャラクターをモチーフにベッキーがデザインした「Disney BK designed by Becky」や、「凜趣」を始めとする当社オリジナルブランド衣装等を導入し、新商品開発におきましては、七五三専用のプレミアム台紙や、従来の一冊完結型デジタル写真アルバムのデザイン性と、本来のアルバムの特徴である増やせる機能を併せ持った「増えデジタルアルバム」を導入いたしました。

営業面においては、平成22年5月13日から開始した「七五三お出かけ着物レンタル」の予約受付や「超早撮り七五三キャンペーン」にお客様を呼び込むため、前年度に引き続き当社オリジナルの七五三情報冊子「Aniversa (アニヴェルサ)」を制作、配布するとともに、平成22年4月25日にベッキーと加藤清史郎君が出演する新着衣装発表会を開催し大きくアピールいたしました。

フランチャイズ店舗を含む全店の七五三撮影件数は、5月中旬から開始した「超早撮り七五三キャンペーン」や営業の標準化を目的とした「Happy Birthday 七五三」の取り組みにより、前年同期比で9.4%の増加となりました。

国内の出店状況は、移転7店舗を含み23店舗を出店（内、小商圏型2店）し、次世代型への改装は37店舗実施いたしました。一方退店は、移転による7店舗を含み10店舗を実施いたしました。

その結果、当第2四半期末の店舗数は、国内こども写真館395店舗（直営店舗382店・フランチャイズ店舗13店）、ペット写真館1店舗、韓国の子会社におけるこども写真館6店舗、中国の子会社におけるこども写真館2店舗、台湾の合弁会社におけるこども写真館2店舗を含め、406店舗となっております。

婚礼衣装製造卸売事業につきましては、第7弾となる香里奈ブランドのウエディングドレス等の発表を行う一方、コスト低減活動に取り組みました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,784百万円（前年同期比3.4%の増加）、営業損失は1,016百万円（対前年同期368万円の損失減少）、経常損失は1,047百万円（対前年同期361百万円の損失減少）、四半期純損失は948百万円（対前年同期97百万円の損失減少）となりました。

なお、当社グループの四半期業績の特徴といたしまして、収益の大半を占めるこども写真事業において、11月前後の七五三の時期に撮影が集中するため、下半期に売上高が偏重する傾向にあります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末と比べ792百万円増加し19,941百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金等の減少により、前連結会計年度末と比べ319百万円減少の7,650百万円となりました。

固定資産はリース資産の増加等により、前連結会計年度末と比べ1,111百万円増加の12,291百万円となりました。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ2,170百万円増加し9,377百万円となりました。

流動負債は短期借入金の増加、リース債務の増加、未払法人税等の減少等により、前連結会計年度末と比べ1,765百万円増加の8,239百万円となりました。

固定負債はリース債務の増加等により、前連結会計年度末と比べ405百万円増加の1,138百万円となりました。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ1,377百万円減少し10,563百万円となりました。

これは主に、当第2四半期連結累計期間純利益（損失）及び前年度の剰余金の処分（配当金支払い）などによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,101百万円減少し、2,995百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、856百万円となりました。その主な内訳は、増加要因として、減価償却費1,015百万円、減少要因として、税金等調整前四半期純損失1,388百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、1,674百万円となりました。その主な内訳は減少要因として、写真スタジオの新規出店及び既存店の改装・設備追加等にかかる支出1,625百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、1,429百万円となりました。その主な内訳は増加要因として、短期借入金の増加額1,550百万円、セール・アンド・リースバックによる収入698百万円であります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、最近の業績の動向や経営環境等を踏まえて見直しを行った結果、平成22年2月8日に公表した業績予想を修正しております。

詳細は平成22年8月2日付で別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,346,593	4,441,693
受取手形及び売掛金	1,103,161	1,056,168
商品及び製品	172,505	156,829
仕掛品	62,342	76,786
原材料及び貯蔵品	1,035,477	938,508
繰延税金資産	808,595	196,882
その他	1,184,544	1,152,910
貸倒引当金	△62,900	△50,000
流動資産合計	7,650,319	7,969,780
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,461,165	7,304,692
減価償却累計額	△3,516,551	△3,532,016
建物及び構築物(純額)	3,944,613	3,772,676
機械装置及び運搬具	768,775	765,905
減価償却累計額	△562,108	△516,794
機械装置及び運搬具(純額)	206,666	249,110
工具、器具及び備品	3,538,789	3,254,408
減価償却累計額	△2,634,306	△2,368,778
工具、器具及び備品(純額)	904,482	885,629
土地	650,076	650,076
リース資産	2,187,898	1,025,519
減価償却累計額	△643,276	△270,316
リース資産(純額)	1,544,622	755,202
建設仮勘定	429	—
有形固定資産合計	7,250,890	6,312,696
無形固定資産		
のれん	525,614	525,713
その他	467,148	478,449
無形固定資産合計	992,762	1,004,162
投資その他の資産		
投資有価証券	157,435	122,429
長期貸付金	219,888	219,888
繰延税金資産	860,556	792,529
敷金及び保証金	2,901,390	2,821,178
その他	8,279	6,366
貸倒引当金	△100,000	△100,000
投資その他の資産合計	4,047,550	3,862,391
固定資産合計	12,291,203	11,179,249
資産合計	19,941,522	19,149,029

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	566,746	473,057
短期借入金	3,613,600	2,063,600
未払法人税等	268,398	920,588
リース債務	1,222,456	719,531
賞与引当金	8,854	12,050
未払費用	957,932	1,080,001
その他	1,601,409	1,205,536
流動負債合計	8,239,397	6,474,366
固定負債		
退職給付引当金	327,223	301,703
リース債務	715,144	349,938
その他	96,005	81,575
固定負債合計	1,138,374	733,218
負債合計	9,377,771	7,207,584
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,885,950	1,885,950
資本剰余金	2,055,449	2,055,449
利益剰余金	6,476,997	7,855,316
自己株式	△9,157	△9,022
株主資本合計	10,409,240	11,787,692
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△124	△127
為替換算調整勘定	△70,614	△52,363
評価・換算差額等合計	△70,738	△52,491
少数株主持分	225,249	206,244
純資産合計	10,563,750	11,941,445
負債純資産合計	19,941,522	19,149,029

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年6月30日)
売上高	11,399,188	11,784,129
売上原価	9,264,038	9,404,476
売上総利益	2,135,150	2,379,653
販売費及び一般管理費	3,519,551	3,395,917
営業損失(△)	△1,384,400	△1,016,264
営業外収益		
受取利息	2,005	2,070
受取家賃	16,810	17,573
為替差益	5,551	—
受取手数料	9,539	6,813
雑収入	17,237	12,324
営業外収益合計	51,144	38,781
営業外費用		
支払利息	25,147	26,941
賃貸費用	6,012	5,971
店舗解約損	27,618	21,987
為替差損	—	10,395
貸倒引当金繰入額	15,000	—
雑損失	2,076	4,801
営業外費用合計	75,854	70,098
経常損失(△)	△1,409,110	△1,047,582
特別損失		
固定資産廃棄損	117,187	145,796
関係会社整理損失引当金繰入額	21,000	—
減損損失	27,434	195,253
特別損失合計	165,621	341,050
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,574,732	△1,388,632
法人税、住民税及び事業税	81,140	218,583
法人税等調整額	△601,315	△679,742
法人税等合計	△520,175	△461,158
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△8,543	21,353
四半期純損失(△)	△1,046,014	△948,826

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
売上高	6,762,659	6,905,689
売上原価	4,924,221	5,007,914
売上総利益	1,838,437	1,897,774
販売費及び一般管理費	1,843,303	1,983,539
営業損失(△)	△4,865	△85,764
営業外収益		
受取利息	778	968
受取家賃	8,385	9,183
受取手数料	5,107	1,775
雑収入	8,962	8,712
営業外収益合計	23,234	20,638
営業外費用		
支払利息	14,062	15,923
賃貸費用	3,273	890
店舗解約損	12,375	20,114
為替差損	7,644	19,727
貸倒引当金繰入額	10,000	—
雑損失	2,040	651
営業外費用合計	49,395	57,308
経常損失(△)	△31,027	△122,434
特別損失		
固定資産廃棄損	68,822	91,745
関係会社整理損失引当金繰入額	21,000	—
減損損失	11,704	175,568
特別損失合計	101,526	267,313
税金等調整前四半期純損失(△)	△132,554	△389,748
法人税、住民税及び事業税	41,484	177,912
法人税等調整額	△40,152	△292,038
法人税等合計	1,331	△114,125
少数株主利益	15,094	17,693
四半期純損失(△)	△148,980	△293,316

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,574,732	△1,388,632
減価償却費	737,172	1,015,904
のれん償却額	42,390	47,089
貸倒引当金の増減額(△は減少)	41,300	12,900
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,024	△2,785
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,964	25,519
関係会社整理損失引当金の増減額(△は減少)	21,000	—
受取利息	△2,005	△2,070
支払利息	25,147	26,941
為替差損益(△は益)	1,459	△3,982
有形固定資産廃棄損	108,088	124,156
減損損失	27,434	195,253
売上債権の増減額(△は増加)	52,063	△49,453
たな卸資産の増減額(△は増加)	△104,108	△104,572
仕入債務の増減額(△は減少)	102,484	95,677
未払消費税等の増減額(△は減少)	△165,936	△244,763
その他の流動資産の増減額(△は増加)	286,440	176,247
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△175,181	60,252
その他	△68,336	27,536
小計	△623,332	11,219
利息の受取額	1,289	831
利息の支払額	△25,147	△24,568
法人税等の支払額	△692,354	△844,435
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,339,544	△856,952
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,200,089	△1,397,020
無形固定資産の取得による支出	△36,304	△85,893
子会社株式の取得による支出	—	△35,000
差入保証金の差入による支出	△70,246	△143,047
差入保証金の回収による収入	52,318	42,597
その他	△23,387	△56,256
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,277,709	△1,674,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,183,598	1,550,000
セール・アンド・リースバックによる収入	675,425	698,842
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△76,411	△389,996
自己株式の取得による支出	—	△134
配当金の支払額	△429,492	△429,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,353,120	1,429,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13,269	1,210
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△277,402	△1,101,141
現金及び現金同等物の期首残高	2,924,413	4,096,920
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,647,010	2,995,779

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）

	こども写真事業 (千円)	婚礼衣装製造 卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,496,296	902,891	11,399,188	—	11,399,188
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	849,514	849,514	(849,514)	—
計	10,496,296	1,752,406	12,248,703	(849,514)	11,399,188
営業利益（又は営業損失）	(790,198)	(502,515)	(1,292,714)	(91,686)	(1,384,400)

当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

	こども写真事業 (千円)	婚礼衣装製造 卸売事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	10,900,647	883,481	11,784,129	—	11,784,129
(2) セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	801,267	801,267	(801,267)	—
計	10,900,647	1,684,748	12,585,396	(801,267)	11,784,129
営業利益（又は営業損失）	(786,974)	(116,142)	(903,117)	(113,146)	(1,016,264)

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品又は役務の種類、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品・役務の内容

こども写真事業 ……スタジオ写真の撮影・制作・加工、ディスプレイ制作、印刷等
婚礼衣装製造卸売事業 ……婚礼用ドレス・撮影用衣装等の制作・販売

3. 会計処理の方法の変更（棚卸資産の評価に関する会計基準）

前第2四半期連結累計期間

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.（1）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方によった場合に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業損失が、こども写真事業で3,017千円、婚礼衣装製造卸売事業で51,143千円それぞれ増加しております。

4. 会計処理の方法の変更（リース取引に関する会計基準）

前第2四半期連結累計期間

「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」1.（2）に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））を適用しております。これによるセグメント情報に与える影響額は軽微であります。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の

記載を省略しております。

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年6月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自平成22年1月1日 至平成22年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。